

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	中央区
学 校 名	玉造小学校
学校長名	森石 泰生

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・玉造小学校では、第6学年 111 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は79%で全国平均を11.3ポイント上回った。算数の平均正答率は77%で全国平均を13.6ポイント上回った。

正答数の中央値は、国語は全国が10問に対して本校は12問、算数は全国が11問に対して本校は13問という結果であった。

正答数分布グラフの算数においては、若干ではあるが2極化の傾向が見られた。

また国語の平均無回答率は0.8%で全国平均の4.2%より3.4ポイント低く、算数の平均無回答率は0.2%で全国平均3.4%より3.2ポイント低い結果となった。本校児童は、最後まであきらめずに考えて問題を解こうとする意識が高いと考えられる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

すべての内容で全国平均を上回った。特に「我が国の言語文化に関する事項」については、全国が74.6%であるのに対し、本校は91.0%と16.4ポイント上回った。

〔算数〕

すべての領域で全国平均を上回った。特に「数と計算」の領域については、全国が66.0%であるのに対し、本校は81.2%と15.2ポイント上回った。

各教科における「知識・技能」の観点では、国語が13.2ポイント、算数で12.0ポイント全国を上回り、「思考・判断・表現」については国語で9.6ポイント、算数で16.3ポイント全国を上回った。これは、すべての学級において基礎基本の定着のため、個別最適な学びの場を設定し、学習内容の定着を図った成果であると考えられる。

質問調査より

ほとんどの質問事項において、全国平均と比べても、より肯定的な回答の割合が高かった。

全体的には高水準であるが、「学校に行くのは楽しい」と思える児童の割合（83.0%）が昨年度より4ポイント減少している。「自分と違う意見について考えることを楽しい」と思い（80.4%）、「友達関係に満足している」児童が多い（91.1%）、その一方で「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがありますか」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が、昨年度より約7ポイント減少し、87.5%となったことが気になる。児童の多様なウェルビーイングの求め方を認め、安全で安心できる学校づくりを一層進める。

また、平日1日当たりの学習時間が3時間以上の児童は全体の30.4%で、全国平均と比べて非常に高い割合である。一方で「全くしない」と答えた児童は前回のよりも約3ポイント増加し4.5%となっていることから、全体的な学力向上を図るためにも、家庭での学習習慣の確立をすすめる必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

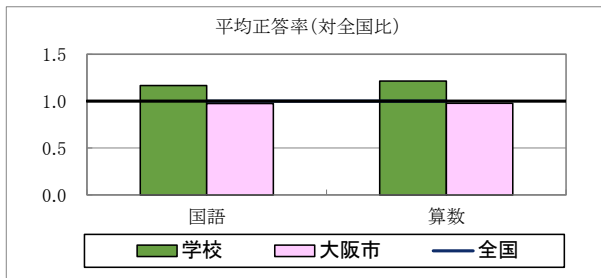
児童の学力を支える基本的生活習慣や日々の学習習慣を保ち、校内での授業の充実をさらに図りながら、一人一人の学力の維持向上に努める。今後も、基礎基本の定着のための個別学習の時間を確保しつつ、授業においては個別最適な学びを充実させ、主体的で対話的で深い学びの授業を継続的に展開することで、児童の生きる力を育む。

また、その一方で、教員の働き方改革を継続して進める。教員が子どもと向き合う時間を生み出すことによって、また、積極的にICT機器を活用することによって、個に応じた指導を進め、教材研究や指導方法の工夫改善につなげたい。

【 全体の概要 】

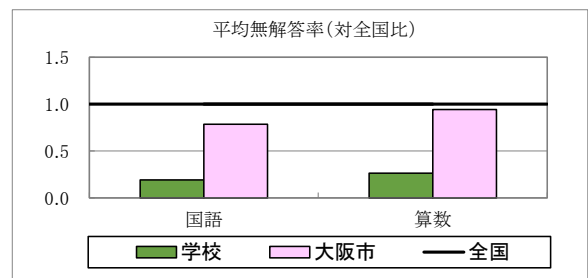
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	79	77
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

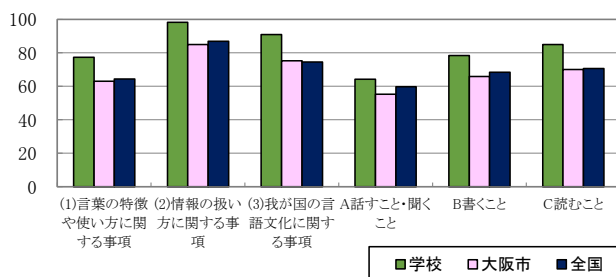
	国語	算数
学校	0.8	0.9
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



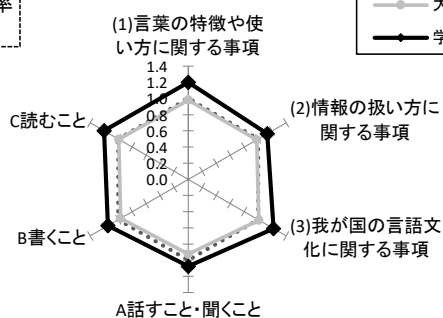
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	77.3	63.1	64.4	12.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	98.2	85.0	86.9	11.3
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	91.0	75.3	74.6	16.4
A 話すこと・聞くこと	3	64.3	55.3	59.8	4.5
B 書くこと	2	78.4	65.9	68.4	10.0
C 読むこと	3	85.0	70.1	70.7	14.3

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



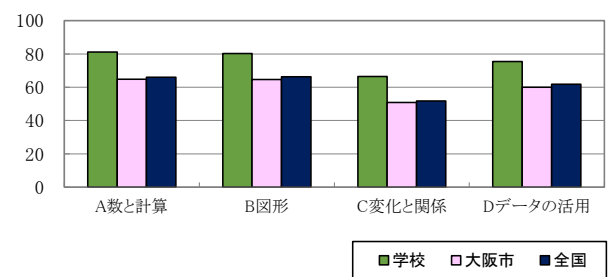
国語
内容別正答率
(対全国比)



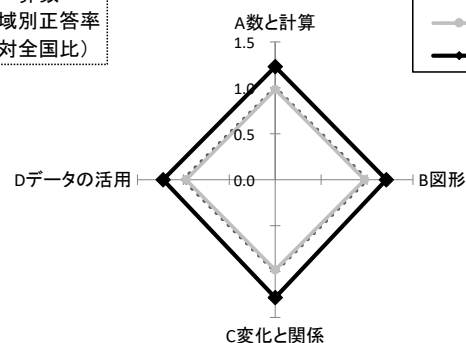
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 数と計算	6	81.2	64.8	66.0	15.2
B 図形	4	80.2	64.6	66.3	13.9
C 測定	0				0.0
C 変化と関係	3	66.4	50.8	51.7	14.7
D データの活用	4	75.5	60.0	61.8	13.7

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数
領域別正答率
(対全国比)

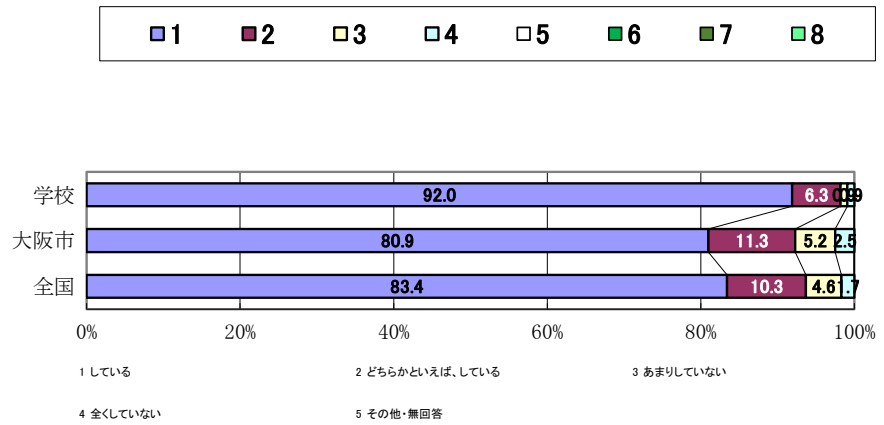


児童質問紙より

質問番号
質問事項

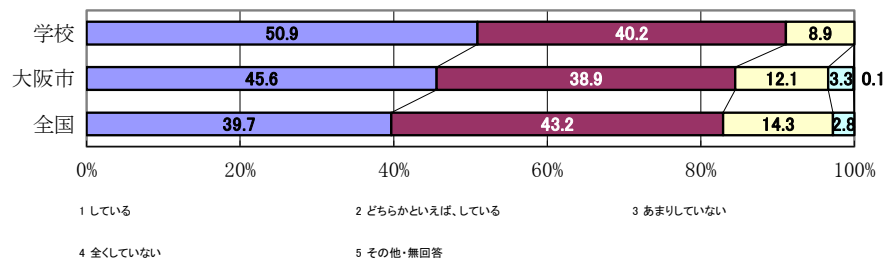
1

朝食を毎日食べていますか



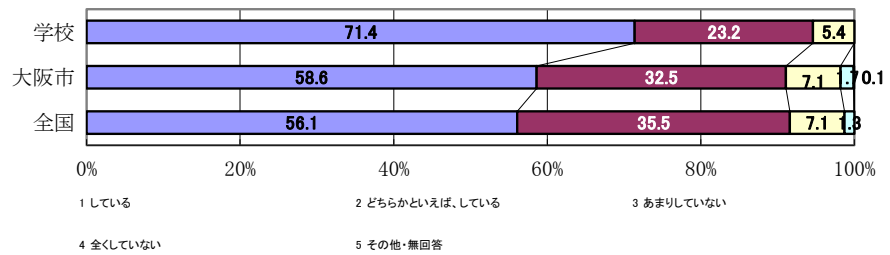
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



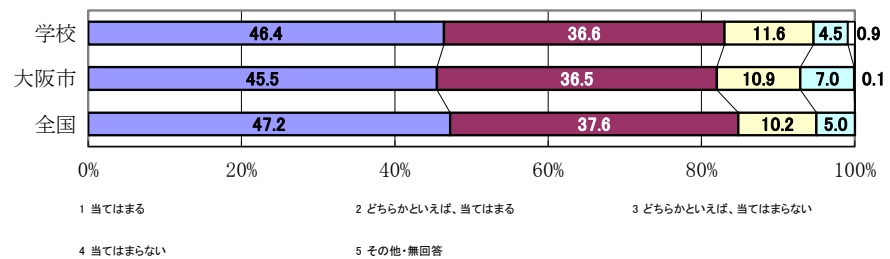
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



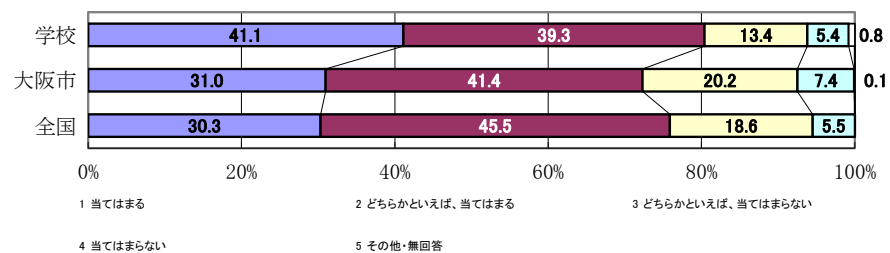
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

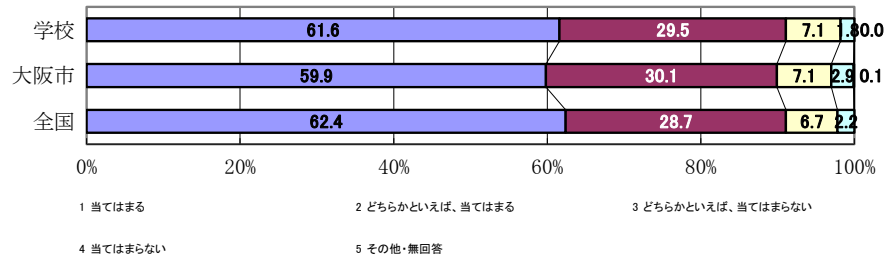


児童質問紙より

質問番号
質問事項

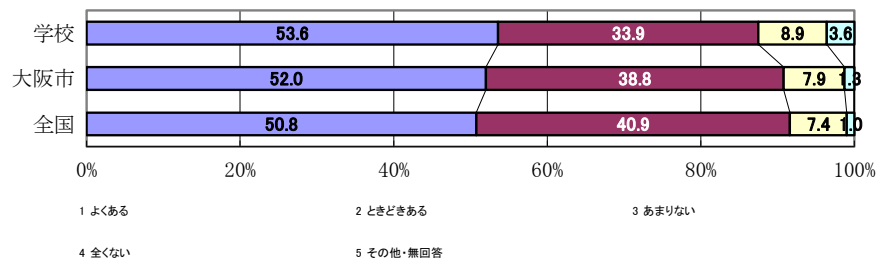
18

友達関係に満足していますか



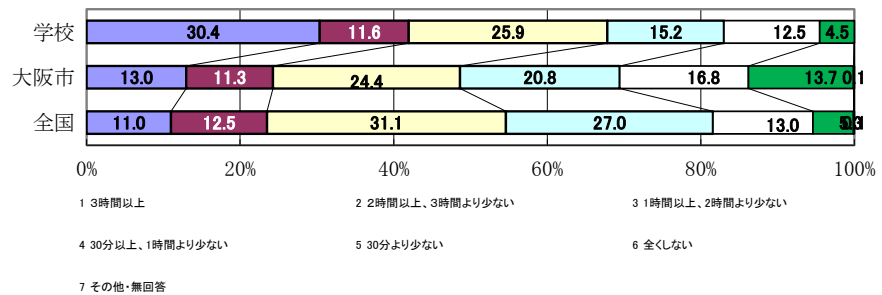
19

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



学校質問紙より

質問番号

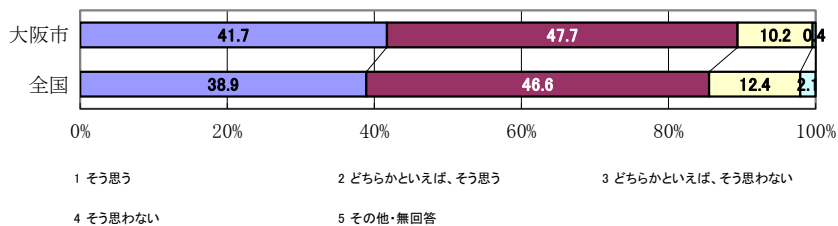
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

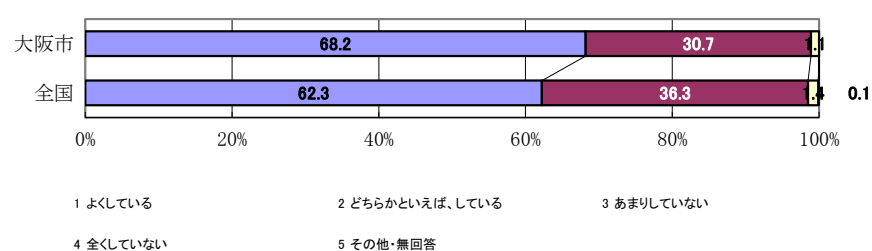
学校 「そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

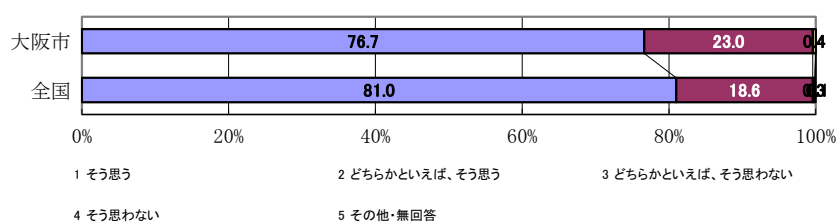
学校 「よくしている」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「よく行った」を選択

